

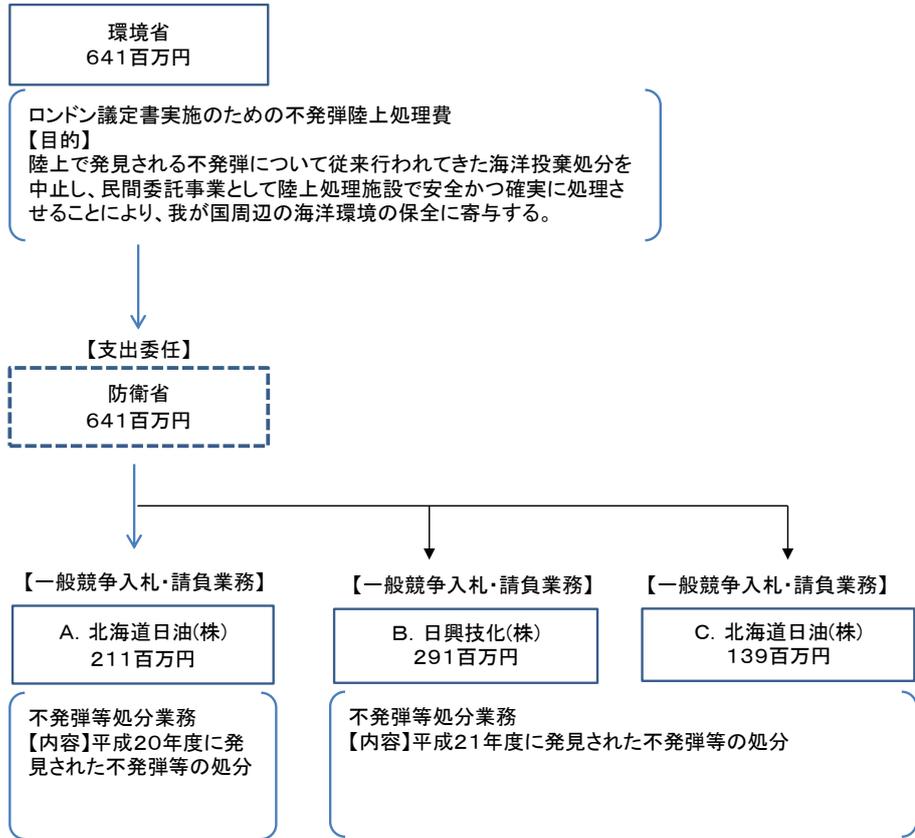
平成24年行政事業レビューシート

(環境省)

<b>事業名</b>	ロンドン議定書実施のための不発弾 陸上処理事業		<b>担当部局庁</b>	水・大気環境局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了 (予定) 年度</b>	平成19年度		<b>担当課室</b>	水環境局海洋環境室		水環境課海洋環境室長 森 高志		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	3-3 水環境の保全 (海洋環境の保全を含む)				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	-		<b>関係する計 画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)</b>	陸上で発見される不発弾について従来行われてきた海洋投棄処分を中止し、民間委託事業として陸上処理施設で安全かつ確実に処理させることにより、我が国周辺の海洋環境の保全に寄与する。							
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	平成21年度に発見され、陸上自衛隊が安全化措置を実施した不発弾(約25トン)について、平成24年度末までに、民間事業者処理させるものである。 また、受託業者による不発弾の処理等が適切に実施されるよう陸上自衛官が所要の指導監督を行う。 なお、この不発弾の処理に当たっては、受託業者が不発弾の処理に必要な施設の整備から行わなければならない、処理が完了するまでに長期間(3年以上)を要することから、4年の国庫債務負担行為として事業を行っている。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	222	394	644	1,139	1,239	
		補正予算	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0			
		計	222	394	644	1,139	1,239	
	執行額	222	394	644				
執行率 (%)	100%	100%	100%					
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	陸上において処理された不発弾の量(実績)		成果実績	t	25	42	34	-
			達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	不発弾の処理量は、陸上での発見量に比例するため、指標を示すのは困難である。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
					-	( - )	( - )	
<b>単位当たり コスト</b>	31,771,445 (円/t)		算出根拠	平成23年度契約額/平成23年度処分量=1081,500,000(円)/34.04(t)				
平成 24 ・ 25 年 度 予 算 内 訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	不発弾処理業務庁費	1,137	1,236	平成22年度に民間業者に処理委託した不発弾(約42トン)のうち、砲弾、艦砲弾及び手りゅう弾等の処理に要する経費が増加したため				
	職員旅費	2	3					
計	1,139	1,239						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	不発弾の陸上処理について、不発弾が発見される場所や量等は、偶発的な要素が大きく、潜在的に広く国民全体に影響があり、不発弾処理については、高度な技術力を要することから、国の責務として事業を実施することが不可欠である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札によって選定された請負業者に対して支出をしており、競争性が確保されている。受益者との負担関係及び費目・使途も適切なものとなっている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	これまでの業務によって得られた知見を活用し、継続的に各種処理を実施している。実施にあたっては、各年度の処理量を計画し、適切に実施している。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	過去の実績を参考とし、引き続き競争性のある契約を実施し、事業の進捗状況を随時把握すると共に、効率的に事業が行えるよう仕様書の検討。見直しを行い、より効率・効果的な予算執行を行う。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	不発弾処理の重要性を考慮し、現状通りとする。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	引き続き予算の効率的な執行に努める。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	077

※平成23年度実績を記入



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

※その他防衛省職員のための旅費 2.5百万円

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごと  
 に最大の金額が支出され  
 ている者について記載す  
 る。費目と使途の双方で  
 実情が分かるように記載)

A.北海道日油(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑務役務	ロンドン議定書実施のための不発弾陸上処理費	211			
本業務は確定契約であり、実績額報告書等の提出は不要であること、また、競争入札の結果の価格であることから費目・使途毎の内訳確認は困難である。					
計		211	計		0
B.日興技化(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑務役務	ロンドン議定書実施のための不発弾陸上処理費	291			
本業務は確定契約であり、実績額報告書等の提出は不要であること、また、競争入札の結果の価格であることから費目・使途毎の内訳確認は困難である。					
計		291	計		0
C.北海道日油(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑務役務	ロンドン議定書実施のための不発弾陸上処理費	139			
本業務は確定契約であり、実績額報告書等の提出は不要であること、また、競争入札の結果の価格であることから費目・使途毎の内訳確認は困難である。					
計		139	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日興技化(株)	契約相手方 日興技化(株)への部分払い	291	2	90.2
2	北海道日油(株)	契約相手方 北海道日油(株)への部分払い	211	2	62
3	北海道日油(株)	契約相手方 北海道日油(株)への部分払い	139	2	96.6
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					